

立ち止まってバラの香りを…

大塚 秋二郎

済生会宇都宮病院 副院長

東京会場基礎課程（臨床医学各論Ⅱ） 講師

以前、会社や組織運営に大切な3要素を「人・金・もの」と表現しました。当節はスピーディさが重視されて「時間」を加え、さらにIT化を踏まえて「情報」の5つとされています。病院運営においても本質は変わりませんが、この5項目においてことごとく逆風の中にあるのが日本の現実です。順に人：医師・看護師不足、金：診療報酬切り下げ、もの：施設基準・高額医療機器の増加、時間：在院日数と待ち時間短縮、情報：ていねい説明と書類増加。限られた医療資源の中では、まさに踏んだり蹴ったりです。

医療においては今後も負荷が増加し続けるでしょう。ところがこれまで日本の多くの病棟には医師と看護師しかいませんでした。医師・看護師は育成に「人・金・もの・時間・情報」がかかります。増えた仕事をこの二職種で消化させると、互いに押し付け合うしかありません。結果として正確性も安全性も期待できず、本来の治療業務集中性も下がり、人員不足から医療崩壊が待っています。

幸いチーム医療が評価され、様々な職種が医療に参加されるようになりました。たとえば知識がなく不慣れなコード付けを医師にさせるより、能力のあるエキスパートが協力するスタイルは理にかなっています。低医療費政策下での人件費増は経営的に苦しいですが、新しい有能な職能の人的なふくらみが今最も必要であると考えます。特に正確な病名がなくては、あらゆる病院統計は砂上の楼閣です。診療情報管理士はこれからの医療情報において極めて重要な貢献をなすものと信じます。

皆さんが受講している通信教育は強固な動機の継続が求められます。知識を広げる勉強は時に辛く、忍耐を試される状況が生じます。しかしそれは今後の発展性を期待する努力です。放り出して可能性を自ら摘み取る愚をしてはならず、好奇心とゆるぎない決意で取り組んでいただきたい。天国と地獄は置かれた状況をどう受け取るかによります。つまり辛いのか、逆に面白いと思うかは、どの色のメガネ（バカの壁の $Y=aX$ ）をかけているかによります。

「急ぐことはない。案じることはない。ここはつかの間、滞在するだけのこと。ならば立ち止まってバラの香りを楽しんでいこうではないか」米国の偉大なプロゴルファーのウォルター・ヘーゲンの言葉。管理士になるための教育はつかの間です。皆さんの道は「なった後」へ続きます。ならばあせらず、なまけず、目の前の道に咲いている知識のバラの香りを楽しんでください。